

2024年3月29日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社ミスターマックス・ホールディングスと「ESG 経営支援私募債」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型社債商品である「ESG 経営支援私募債（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱UFJフィナンシャルグループの一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURCがESGに関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCRとの連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の社債商品となります。

本日、株式会社ミスターマックス・ホールディングス（代表取締役社長 平野 能章）は、本商品を発行いたしました。また、MUFG ESG 評価において、「特に進んでいる」との評価である A ランクを取得しました。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

✓ ESG（サステナビリティ）全体

ESG 全ての領域における取り組み方針として「サステナビリティ基本方針」を策定し、トップマネジメント自らコミットメントを公表し、専用のウェブページ、及び毎年発行される統合報告書を通じてサステナビリティに関する情報を提供されている点が高く評価されました。

✓ 環境（E）

環境への取り組みに関する企業方針として「ミスターマックス環境方針」を公表の上、2025年/2030年までの目標を策定されております。ESGに関する意思決定の責任を負う組織としてサステナビリティ委員会を設置されており、環境目標の達成度を評価し、その結果に応じて活動計画の見直しを実施されている点や、仕入れ先との協働によってサプライチェーン全体の物流を効率化し、CO2排出量の削減を実現されている点が高く評価されました。

✓ 社会（S）

社会に関するマテリアリティに関する定性目標（方針）や、2030年までの定量目標を定めるとともに、その目標を達成するための取り組みを公表されております。「働きやすさの追求と多様性の尊重」を掲げ、時間外労働の実績、女性管理職比率や障がい者雇用率を公表されている点や、製品品種ごとに JIS 基準に基づく検査基準を制定し、外部検査機関を通じた検査の取り組みをウェブサイトにて、顧客に対して訴求されている点が高く評価されました。

✓ ガバナンス（G）

取締役は性別に関係なく、個々の経歴、実績や人間性、知識、経験、能力等バランスを総合的に勘案して取締役を選任され、その審議は指名・報酬諮問委員会にて実施されております。取締役会の実効性評価について第三者機関を交えて適切に実施している点や、気候変動リス

クのような新興リスクを含む事業等のリスクを特定し、リスク分析を実施され、結果およびリスクへの対応策について TCFD のフレームワークに沿って公表されている点が高く評価されました。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上